

しごととーく Work×Talk

in 公立大 2025秋

未来の自分

し 科学技術の進歩により、理系の知識や思考力は、さまざまな課題解決に不可欠です。一方で、研究室や大学院での選択は将来のキャリアの幅を広げる可能性を秘めていますが、多くの学生が「専攻分野をどのように仕事に活かせるのか？」と悩んでいます。「しごととーく 2025 秋」では、日本のトップメーカーで活躍する若手企業人と直接対話し、キャリアの可能性を探るとともに、研究の選択がどのように将来につながるのかを考える機会を提供します。

若手社員との対話

自分のしごと

参加申し込み

募集定員 30名

主な対象
学部・学域生
(大学院生も参加可)

2025
10/3
中百舌鳥キャンパス



秋 「しごととーく」は、専門分野を問わず、
未来のキャリアの可能性を考えるための場！

第一線で活躍する若手技術者と直接話し、社会で求められるスキルや仕事のリアルを学ぶとともに、技術とビジネスのつながりや、技術系企業で活躍するにはどんな専門性やスキルが必要なのか、また、技術を支えるマーケティングや企画・経営戦略の視点がどのように関わるのかも理解できます。自身のキャリアの可能性を広げるきっかけになり、プロジェクトの進め方や異分野の人と協力する重要性も学べる貴重な機会です！

プログラムのポイント

- ▶ 文系・理系を問わず、どの学年でも参加可能！
- ▶ 企業の「リアルな現場」を知るチャンス！
- ▶ 人事ではなく、最前線の技術職社員が登壇！
- ▶ 複数企業の技術者と対話できる貴重な機会！

内容

1. 企業の現場エンジニアによる「生き様」プレゼン
登壇社員から、入社からこれまでのキャリアと大事にされている価値観についてプレゼンテーション
2. 自身の将来を含め深掘りする座談会
少人数のグループに分かれ、質疑応答形式で交流



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

日時・場所

2025年 10月 3日 (金) 17:30-19:30
中百舌鳥キャンパス(A6棟 3階 ラーニングcommons)

対象

学部生・学域生： 主に2～3年次生
(他の学年、大学院生なども参加可能)
大阪公立大学工業高等専門学校の高専生も参加可能

定員 30名 まで

参加企業：決定次第Webページに掲載

(これまでの参加企業)
パナソニックグループ、川崎重工株式会社
関西電力株式会社、大日本印刷株式会社
日立グループ

申し込み: QRコードから

WEBフォーム: <https://forms.office.com/r/5SQtFHXWPR>

QBIC 「しごととーく in 公立大 2025秋」は、「転換期の社会に求められる力を
培うための産学連繋型教育プログラム: QBIC」の一貫として実施します。

主催: 大阪公立大学 高度人材育成推進センター

共催: (一社)エッジソン・マネジメント協会

問い合わせ

国際基幹教育機構 高度人材育成推進センター 担当:市田(いちだ)
h.ichida@omu.ac.jp